

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【公表番号】特表2002-540087(P2002-540087A)

【公表日】平成14年11月26日(2002.11.26)

【出願番号】特願2000-606548(P2000-606548)

【国際特許分類】

C 07 C	29/16	(2006.01)
C 07 C	2/06	(2006.01)
C 07 C	11/02	(2006.01)
C 07 C	31/125	(2006.01)
C 07 C	41/03	(2006.01)
C 07 C	43/13	(2006.01)
C 07 C	303/24	(2006.01)
C 07 C	305/06	(2006.01)
C 07 C	305/10	(2006.01)
C 07 F	9/09	(2006.01)
C 07 H	15/04	(2006.01)
C 08 B	37/00	(2006.01)
C 07 B	61/00	(2006.01)

【F I】

C 07 C	29/16	
C 07 C	2/06	
C 07 C	11/02	
C 07 C	31/125	
C 07 C	41/03	
C 07 C	43/13	C
C 07 C	303/24	
C 07 C	305/06	
C 07 C	305/10	
C 07 F	9/09	K
C 07 F	9/09	Z
C 07 H	15/04	D
C 08 B	37/00	J
C 07 B	61/00	3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月9日(2007.2.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 a ) オレフィン混合物の二量体化、

b ) 第1アルコールへの誘導体化、および

c ) 場合によっては引続きアルコキシリ化、

を行うことによって、生体毒物性および生物分解性に関連して特に有利な性質を有する界面活性アルコール、および相応する界面活性アルコールエーテルを製造する方法において

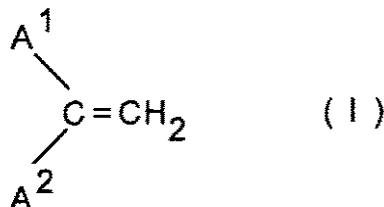
、線状ヘキセン異性体30～80質量%、およびヘキセン異性体を合計で少なくとも60質量%含有するオレフィン混合物を使用することを特徴とする、界面活性アルコールおよび相応する界面活性アルコールエーテルの製造法。

【請求項2】 二量体プロパンおよび線状ヘキセンを0.3:1～1:0.1の質量比で含有するヘキセン異性体混合物を使用する、請求項1記載の方法。

【請求項3】 処理工程a)、二量体化を不均一系接触作用により実施する、請求項1記載の方法。

【請求項4】 周期律表の第VII副族の少なくとも1つの元素を含有する二量体化触媒を使用し、かつ式(I)(ビニリデン基):

【化1】



[式中、A<sup>1</sup>およびA<sup>2</sup>は脂肪族炭化水素基を表す]で示される組織構成要素を有する化合物10質量%未満を含有する二量体混合物が得られるように、触媒組成および反応条件を選択する、請求項1記載の方法。

【請求項5】 分枝を有する成分85%を上回る含量および非分枝鎖状オレフィンの15%未満の含量を含有する、オレフィン混合物。

【請求項6】 次の特徴a)およびb):

a) 主鎖の分枝箇所に、yが二量体化されたモノマーの炭素原子数を表す場合に、主としてC原子(y-4)個および(y-5)個を有する基を結合している。

b) 二量体化混合物の分枝鎖状成分が、主鎖の鎖長の1/4～3/4の範囲内で分枝を有するか、または隣接するC原子に分枝2つを有するの少なくとも1つを有する、請求項5記載のオレフィン混合物。

【請求項7】 次の特徴a)およびb):

a) 主鎖の分枝箇所に、yが二量体化されたモノマーの炭素原子数を表す場合に、主としてC原子(y-4)個および(y-5)個を有する基を結合している。

b) 二量体化混合物の分枝鎖状成分が、主鎖の鎖長の1/4～3/4の範囲内で分枝を有するか、または隣接するC原子に分枝2つを有するの少なくとも1つを有する、界面活性アルコールまたはそのアルコキシル化生成物。

【請求項8】 請求項7記載の界面活性アルコール-アルコキシル化生成物であることを特徴とする、非イオン界面活性剤。

【請求項9】 請求項7記載の界面活性アルコールまたは界面活性アルコール-アルコキシル化生成物を化学的に変性することにより界面活性剤を製造する方法。

【請求項10】 アルカノールグリコシド混合物およびポリグリコシド混合物を製造するために、前記界面活性アルコールまたは界面活性アルコール-アルコキシル化生成物を酸触媒作用下に水を遮断しながら単糖類、二糖類または多糖類と反応させるか、またはO-アセチルサッカリド-ハロゲン化物と1回または数回反応させる(グリコシド化、ポリグリコシド化)ことによって変性するか、または

界面活性硫酸塩を製造するために、硫酸または硫酸誘導体を用いて、前記界面活性アルコールまたは界面活性アルコール-アルコキシル化生成物を酸性のアルキルスルフェートまたはアルキルエーテルスルフェートへとエステル化することによって変性するか、または界面活性リン酸塩を製造するために、リン酸またはその誘導体を用いて、前記界面活性アルコールまたは界面活性アルコール-アルコキシル化生成物を酸性のアルキルホスフェートもしくはアルキルエーテルホスフェートへとエステル化することによって変性する、請

求項9記載の方法。